

3サンハイツせけんばな紙

第 23 号

令和5年10月1日

編集責任者

田島康弘 (3-101)

作成責任者

渡邊芳憲 (9-503)

編集委員

小松清明 (10-501)

団地内の野草

田島康弘 (3-101)

ヤナギバルイラソウ (柳葉ルイラ草)

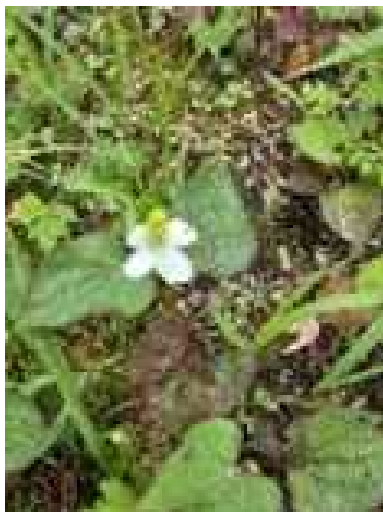
2号棟の前の東側で鉄格子で覆ってある四角い正方形の溝の中から葉を出して花を咲かせていました

ルイラはフランスの植物学者の名前であり、葉が柳の葉のように細長いので、この名がついています。なお、草(ソウ)とついていますが本来は常緑小低木で木の仲間だそうです。

メキシコ原産の多年草(小低木)で、1970年代に沖縄経由で帰化植物になりました。

非常によく似た花にムラサキルエリアがあります。葉が細長くはなく楕円形なので区別が付きそうです。

花言葉は「正直」「勇気と力」「力強く成長するので」「愛らしさ」(花の姿から)です。



訂正

前々回(8月号)のドクダミの漢字は毒藪ではなく藪です。この漢字1字でドクダミと読みます。ドクダミに毒の字をつけると毒があるように思われますが、ドクダミ自身には毒はありません。漢字に毒の字も入りません。

10月行事予定

天候などの状況によっては、中止・延期などもあり得ますので、事前に確認をお願いします。

- 9日(月) ★ 火災予防運動の日(毎月9日)
- 13日(金) ★ 鴨池中学校 国体観戦(全学年)
- 14日(土) ★ 鴨池小学校 土曜授業
- ★ かもなかまつり「繋ごろう地域と!カモカモ go!go!」
場所: 鴨池中学校校庭・体育館 時間: 12~17:00
コンテンツ: 企業マルシェ、体育館ステージ、リユースフリーマーケット、模擬店、青年の主張
- ★ 鴨カムサタデー 場所: 鴨池校区公民館及びその前面松林・地域食堂「鴨カムお結び」
時間: 12:00~13:30 (提供完了次第終了)
料金: 18歳以上/300円、18歳未満/200円、未就学児/無料
- ・ 絵画講座 時間: 12:00~13:30 申込・道具・参加料不要
- ・ スマホ相談会 時間: 12:00~13:30
- ・ 第2回かもスク講座「紙粘土で恐竜を作ろう」親子講座
講師: 純浦彩氏(松陽高校講師) 定員: 10組(超過時抽選) 申込締切: 10月11日(水)
時間: 13:30~15:00 料金: 500円(材料費)
持参品: 絵の具、手袋(軍手)、作業にふさわしい服装で
- 15日(日) ★ 第5回ダレデューモ・マナヴェール「奄美を愛した人名越(なごや)左源太~南島雑話~」
講師: 名越護氏(元南日本新聞編集委員)
場所: 真砂福祉館1階洋室 時間: 10:00~12:00
- 17日(火) ★ 鴨池小学校 国体閉会式参加(6年生)
- ★ 鴨池中学校 国体閉会式参加(2、3年生)
- 19日(木) ★ 第6回プティエコール「塾ってどんなところ?」
場所: 鴨池校区公民館 時間: 10:00~12:00
参加予定塾: 4校
- 21日(土) ★ 第2回かもいけ健康まつり
場所: 今村総合病院1階、2階フロアー
時間: 13:30~16:00(飲食ブース: 11:30からオープン)
- ★ 鴨池中学校 第2回リサイクル活動
- 28日(土) ★ 第2回腎臓病教室「腎臓を守るために知っておいてほしいこと」講師: 中村英仁医師(腎臓内科)
場所: 今村総合病院C棟8階患者ラウンジ 定員: 15名(先着順)
時間: 10:00~11:00 申込: 099-251-2221(今村総合病院第1透析室)
参加費: 無料
- 29日(日) ★ 鴨池小学校 運動会 30日(月) 振替休日

以上の詳細は、「LLかもいけ」10月号(第115号)をご覧ください

※お問合せ等は 鴨池校区コミュニティ協議会事務局 (☎099-285-1522、月水金09:00~12:00、祝日休み)

最近感じたこと

渡邊芳憲（91503）

■はじめに

今回は、特定のテーマについての記事ではなく、私が最近、見聞した事などについて、述べさせてもらいたいと思います。

ムペンバ効果

ムペンバ効果とは、「特定の状況の下（もと）では高温の水の方が低温の水よりも短い時間で凍ることがある」という主張です。これを聞くと、誰しも「そんな馬鹿な」と思いますよね。私もそうでした。まず、これが発見（？）されたいきさつは、次のようなものでした。今から60年前の1963年、当時中学生であったタンザニアのエラスト・B・ムペンバが、調理の実習中、アイスクリームミックスを熱いまま凍らせたところ、他の生徒が冷ましてから凍らせたものより先に凍ったことから発見したとされています。その後、高校生になったムペンバは、校長が、ダルエスサラーム大学の科学部長であったデニス・オズボーンを招いて講演が行なわれた際、多分オズボーンに質問したんでしょう。オズボーンが、半信半疑ながら検証したところ、主張どおりの結果が得られたとして、1969年ムペンバと連名で研究結果を発表しました。

先に、発見にクエスチョンマークをつけていますが、これは、古代ギリシアの哲学者アリストテレス（紀元前384〜322年）やフランシス・ベーコン（イギリスの哲学者・科学者、1561〜1626年）ルネ・デカルト（フランスの哲学者・数学者・科学者、1596〜1650年）などが気付いていた可能性があるとされているからです。日本では、2008年NHKの科学情報番組『ためしてガッテン』で紹介されたことがあるそうです。ムペンバ効果については、再現性が、ランダムであったり、再現に成功しても、再現条件が不適切であったりして、完全には解明されていないそうです。

私は、なにより、ムペンバ少年が、（私と同様な反応で）誰からもまともに相手にされない中で、その疑問を持ち続けたことに、感心するとともに、（半信半疑ながらも）その主張を採りあげたデニス・オズボーン科学部長に敬服しました。

女子衆（おなごしゅう）

なんであったか、この「男衆、女子衆（おとこしゅう、おなごしゅう）」という言葉を耳にしました。この「女子衆」という言葉についてです。鹿児島では、若い人は言わないかもしれませんが、一定以上の人にとっては、女の人を罵倒するときに「あんおなごんしゅは」とか「あんおなごは」と言ったり、聞いたことのあると思います。この「おなご」という言葉ですが、時に、侮蔑を含んでいるように見えます。しかし、元々は侮蔑する意味は全然なく、単に「おとこ」に対応する言葉として、「おなご」が使われたのではないかと、私は考えます。

その訳は、「おとこ」と「おんな」では、対比させたとき、共通する音はあたまたの「お」しかありません。しかし、「おんな」を「おなご」にする頭頭の「お」だけでなく、終わりの音が「お」の段である「こ」と「ご」になります。

「おとこしゅう」と「おなごしゅう」は、音として、違和感なく、並立するように思います。

私は、日本語というのは、音の流れ、言いやすさを重視する言葉ではないかと考えています。

ですから、「女子」が「おんなご」でなく、「おなご」であることもそのあらわれだと思います。勿論、女衆（おんなしゅう）という言葉もあります。ですから、私の考えを何が何でもというつもりはありませんし、辞書等をみても、私の考えについての言及はありません。

なお、付け加えて言わせてもらえば、私は、小さい頃、「柳生十兵衛」がなぜ、「ヤナギウ」ではないのか、「女房」が、「ニヨボウ」でなく「ニヨボウ」であるのかが不思議でした。このような例は私の中にはたくさんありました。



NATOとOTAN

去年の2月24日、ロシアは、突如ウクライナに武力侵攻しました。

このことについては、機会があれば、改めて、述べると思いますが、今回は、ウクライナに関するニュースで良く見る北大西洋条約機構「ナトー、NATO」のロゴについてです。

右にあるように、「NATO」の下に併記してあるのが「OTAN」です。これが、見る度に気になっていました。最初は、加盟国の中に右から読む国があって、そのために、「NATO」を右から表現しているのかなとも考えましたが、中東とかならともかく、ヨーロッパには、そんな国があったかなと考え、調べてみました。「なんだ。お前はそんなことも知らなかったのか」と言われそうですが、わかりました。

「NATO」は、英語表記「North Atlantic Treaty Organization」の略称で、日本語の「北大西洋条約機構」と語順

もそのままです。ちなみに「NATO」の英語での発音は、日本語で表現すれば「ネイトウ」です。

対して、「OTAN」は、フランス語です。この順番になるのは、フランス語だけではなく、スペイン語、イタリア語、ポルトガル語でも、そうなるそうです。そのため、併記されているそうです。

「OTAN」は「Organisation du Traite de l'Atlantique Nord」の略です。なお「OTAN」の発音ですが、フランス語ではわかりませんでした。スペイン語では日本語式で表わすと「オタン」です。（蛇足かも知れませんが、正式表記の中の、Traite の e にはアクセント記号（強調を表わす記号）がついています。e の上に右上から左下に流れる点です。また、de は先にある du の女性形で母音の前では de l' と省略されます。）

